

静岡県月例経済報告

(平成27年4月号)

……平成27年2月を中心とした県内経済のすがた……

No. 468

—静岡県経済産業部—

目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	4
	・ 需要面	4
	・ 生産面	12
	・ 雇用面	15
	・ その他	18
III	静岡県主要産業の動向	22
IV	データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成27年2月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

平成27年2月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱めの動きもみられる。

先行きについては、堅調な設備投資などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、個人消費での弱めの動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、やや弱めの動きとなっている。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直しつつある。
- ・ 生産は、弱めの動きが続いている。

需要面

◎個人消費は、やや弱めの動きとなっている。

大型小売店販売額(2月)は、スーパーが前年と同水準だったものの、百貨店が5か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも5か月連続で前年実績を下回った。

自動車(新車)新規登録台数(2月)は、乗用車が7か月連続、軽自動車が2か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも11か月連続で前年実績を下回った。

◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(2月)は、分譲住宅が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家が12か月連続、貸家が5か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも11か月連続で前年実績を下回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(2月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成27年4月1日)の27年度設備投資計画は、製造業で増加、非製造業減少する計画となっており、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(2月)は3か月連続で前年実績を下回った。

◎輸出は、持ち直しつつある。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額(2月)は、二輪自動車類が8か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が7か月ぶり、エアコンが4か月連続、自動車が5か月ぶり、自動車の部分品が2か月ぶり、科学光学機器が9か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額(2月)は、自動車の部分品やパルプが前年実績を上回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、771億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、弱めの動きが続いている。

鉱工業生産指数(1月)は、化学工業や電気機械工業などで前年水準を下回ったことから、総合でも7か月連続で前年水準を下回った。また、2か月連続で前月を上回った。

また、産業用大口電力消費量(2月)は、7か月連続で前年実績を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(1月)は、総合では2か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(2月)は1.13倍で、前月と同水準であり、13か月連続で1倍を上回った。また、2か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(2月)は、19か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(1月)は、2か月連続で前年水準を上回った。

その他

◎物価は、前年を上回った。

消費者物価指数(3月)は、総合で103.1となり、前年水準を上回った。

また、前月比は0.3%上昇した。

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(2月)は、前年同月比3.2%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(2月)は、前年同月比2.4%減と前年実績を下回った。

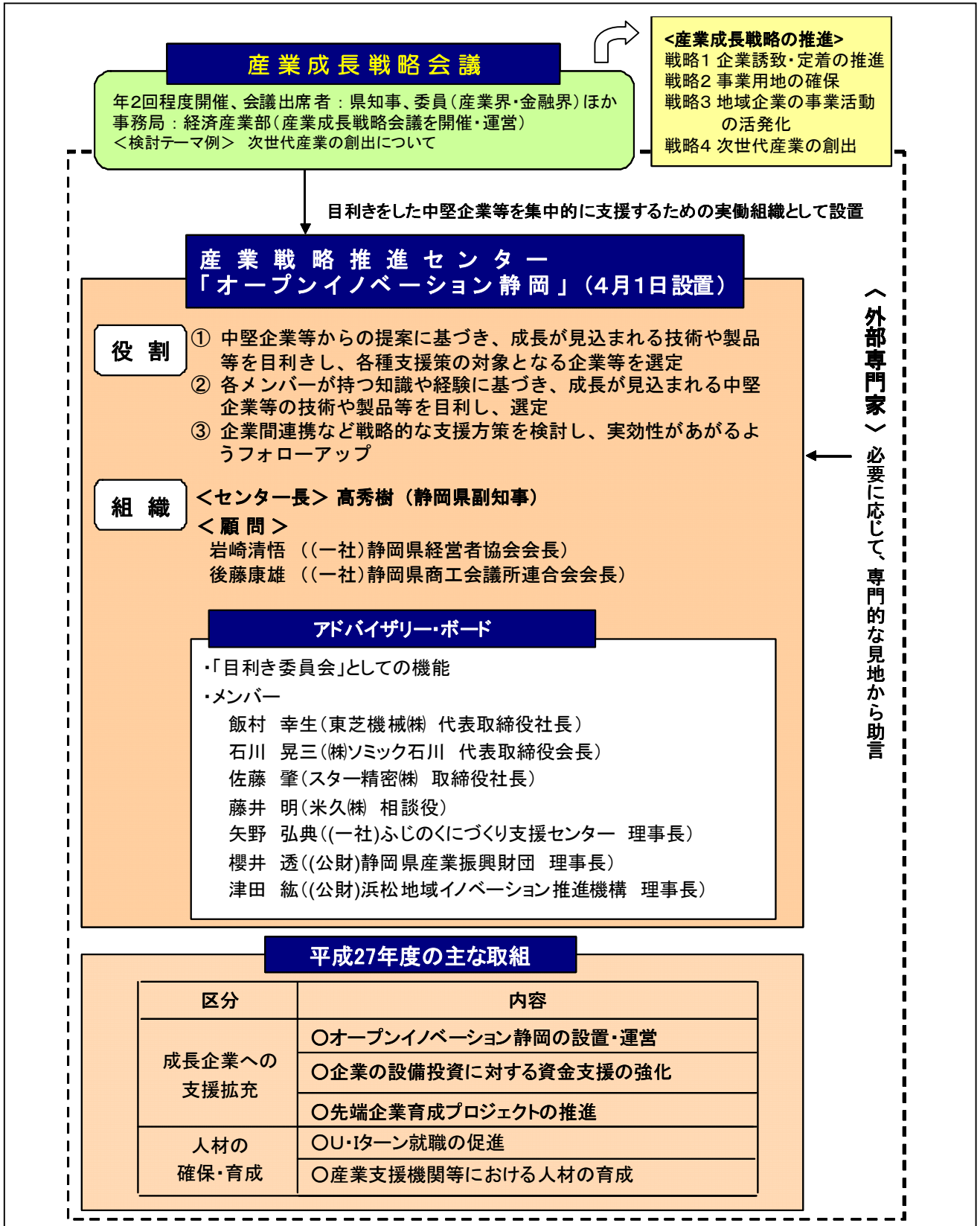
◎企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を下回った。

企業倒産(3月)は、件数は23件、負債総額は前年同月比21.0%減と、いずれも前年実績を下回った。

◀ 県の取組 ▶

【産業戦略推進センター「オープンイノベーション静岡」の設置】

県は、本県独自の産業成長戦略に基づき、新たな事業展開に積極的に挑む地域企業をサポートするための官民協働による新たな組織として、本年4月1日、産業戦略推進センター「オープンイノベーション静岡」を立ち上げました。平成27年度は、本センターを中心として、官民が一体となって産業成長戦略を推進していきます。



II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

2月 = 32,103百万円

*前年同月比： 0.7%減

(県内3百貨店、143スーパー合計)

<概況>

2月の大型小売店販売額は32,103百万円で、前年同月比 0.7%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、スーパーが前年と同水準だったものの、百貨店（前年同月比 3.7%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、飲食物品（同 1.0%増）が10か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 3.4%減）、身の回り品（同 11.6%減）がいずれも5か月連続、家庭用品（同 9.3%減）が11か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月は1.4%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
販売額(百万円)	36,682	35,907	33,764	34,918	36,376	45,063	37,943	32,103
前年同月比(%)	▲ 2.1	0.2	0.8	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 0.7
うち百貨店(%)	▲ 4.8	1.6	3.4	▲ 3.7	▲ 1.9	▲ 1.3	▲ 2.5	▲ 3.7
スーパー(%)	▲ 1.4	▲ 0.1	0.2	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 0.1	0.0
(参考1)全国前年同月比(%)	▲ 0.6	1.6	0.5	0.0	1.2	0.1	0.0	1.3
うち百貨店(%)	▲ 0.4	2.0	1.7	0.2	1.5	0.6	▲ 0.4	3.5
スーパー(%)	▲ 0.7	1.4	▲ 0.1	▲ 0.1	1.0	▲ 0.2	0.3	0.2
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲ 1.0	1.4	2.1	0.0	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 1.4

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
衣料品	▲ 6.9	▲ 2.5	3.6	▲ 3.1	▲ 7.0	▲ 4.9	▲ 6.6	▲ 3.4
うち紳士服・洋品	▲ 6.8	▲ 4.2	5.6	0.6	▲ 7.1	▲ 5.1	▲ 7.5	▲ 1.3
うち婦人・子供服・洋品	▲ 6.6	▲ 2.7	3.0	▲ 4.8	▲ 6.4	▲ 5.4	▲ 6.3	▲ 3.4
身の回り品	▲ 5.1	▲ 1.7	4.8	▲ 7.9	▲ 3.3	▲ 4.1	▲ 3.5	▲ 11.6
飲食物品	0.5	0.8	0.9	0.9	1.5	0.1	1.9	1.0
家庭用品	▲ 11.8	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 9.6	▲ 8.1	▲ 8.4	▲ 9.3
うち家庭用電気機械器具	▲ 23.4	▲ 23.9	▲ 17.8	▲ 12.7	▲ 15.6	▲ 13.1	▲ 14.8	▲ 18.9

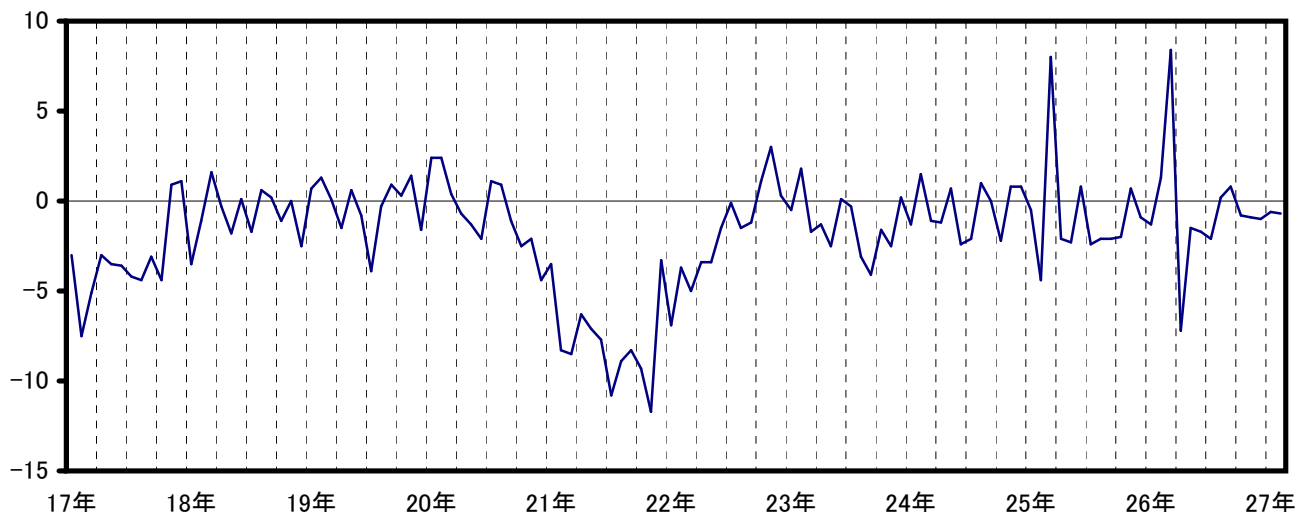
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

2月 = 5,500百万円

*前年同月比： 5.2%減

(県内3百貨店販売額)

<概況>

2月の県内3百貨店の販売額は5,500百万円で、5か月連続で前年実績を下回った。
 品目別にみると、衣料品(前年同月比7.2%減)、身の回り品(同18.2%減)がいずれも5か月連続、家庭用品(同5.8%減)が6か月連続、食料品(同1.1%減)が2か月ぶり、雑貨(同1.8%減)が4か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
販売額(百万円)	6,785	5,195	5,700	5,986	6,921	9,275	7,119	5,500
前年同月比(%)	▲5.6	0.0	1.8	▲5.2	▲3.4	▲2.9	▲3.9	▲5.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.5	▲0.3	▲0.7	▲2.2	▲1.0	▲1.7	▲2.8	1.1

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

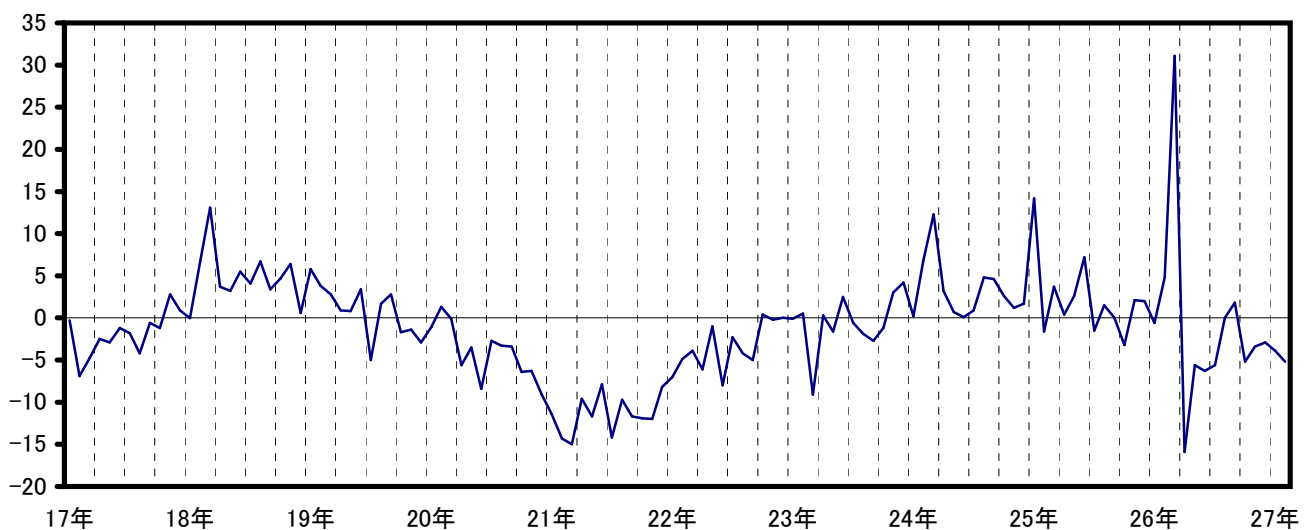
	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
衣料品	▲5.9	1.3	3.1	▲5.7	▲4.8	▲6.5	▲7.6	▲7.2
うち紳士服・洋品	▲4.5	3.3	3.0	▲0.7	▲2.0	▲3.7	▲6.4	▲1.6
婦人服・洋品	▲6.2	▲0.6	4.0	▲7.2	▲5.4	▲7.1	▲7.6	▲8.7
子供服・洋品	▲5.7	6.1	▲5.5	▲10.1	▲4.0	▲12.1	▲6.9	0.2
身の回り品	▲6.0	▲10.0	6.1	▲9.5	▲5.3	▲7.5	▲6.1	▲18.2
家庭用品	▲4.9	0.5	▲9.3	▲11.8	▲5.7	▲6.2	▲7.7	▲5.8
食料品	▲5.2	0.9	▲3.1	▲0.6	▲2.3	▲2.8	1.1	▲1.1
雑貨	▲5.4	0.4	4.3	▲6.0	1.1	9.6	4.5	▲1.8
うち美術・宝飾・貴金属	▲14.1	▲4.1	▲1.9	▲12.5	▲5.3	21.0	13.2	▲6.9

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比(%)

<資料>県百貨店協会



(3) 自動車(新車)新規登録台数

2月 = 18,188台

*前年同月比：16.0%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

2月の自動車(新車)新規登録台数は18,188台(前年同月比16.0%減)となり、11か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同18.3%減)が7か月連続、軽自動車(同13.4%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
登録台数(台)	15,261	11,287	16,904	13,228	14,149	14,156	14,885	18,188
前年同月比(%)	▲7.1	▲12.4	▲12.2	▲8.3	▲8.0	▲5.4	▲21.3	▲16.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.6	▲9.5	▲3.2	▲7.4	▲10.2	0.3	▲20.7	▲17.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

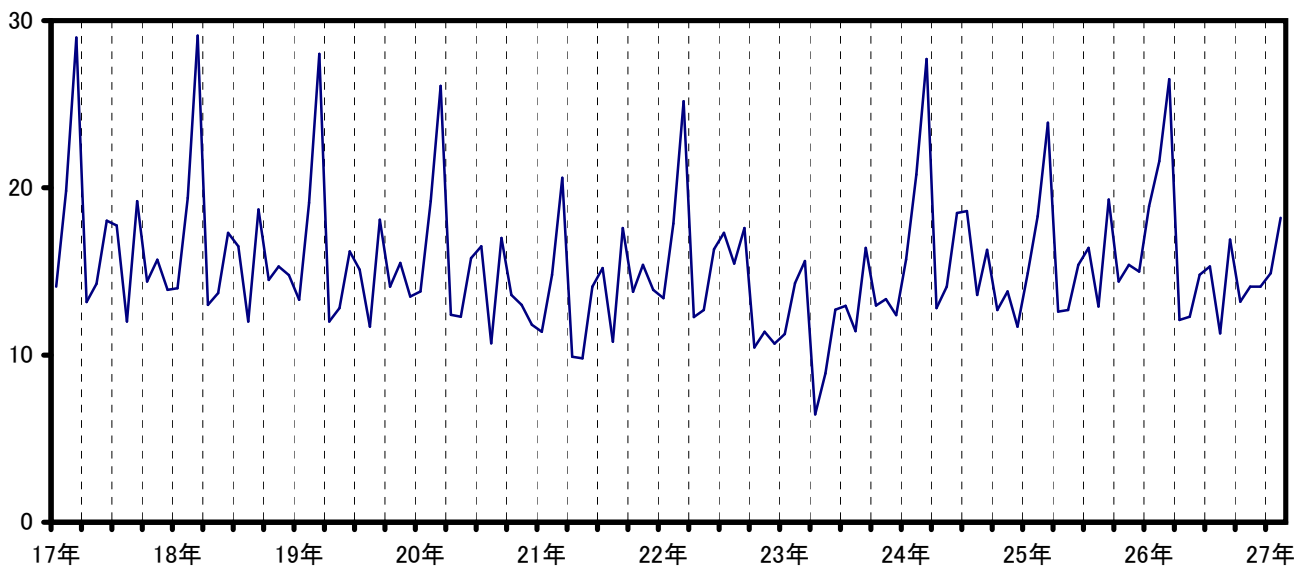
	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
全乗用車	▲7.1	▲12.4	▲12.2	▲8.3	▲8.0	▲5.4	▲21.3	▲16.0
乗用車	1.7	▲9.1	▲12.5	▲11.4	▲16.7	▲13.8	▲26.0	▲18.3
軽自動車	▲16.1	▲15.9	▲11.8	▲4.4	2.7	4.7	▲16.1	▲13.4

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

2月 = 1,771戸

*前年同月比： 16.0%減

<概況>

2月の新設住宅着工戸数は1,771戸で、前年同月比 16.0%減となり、11か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 96.0%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 11.7%減）が12か月連続、貸家（同 40.6%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

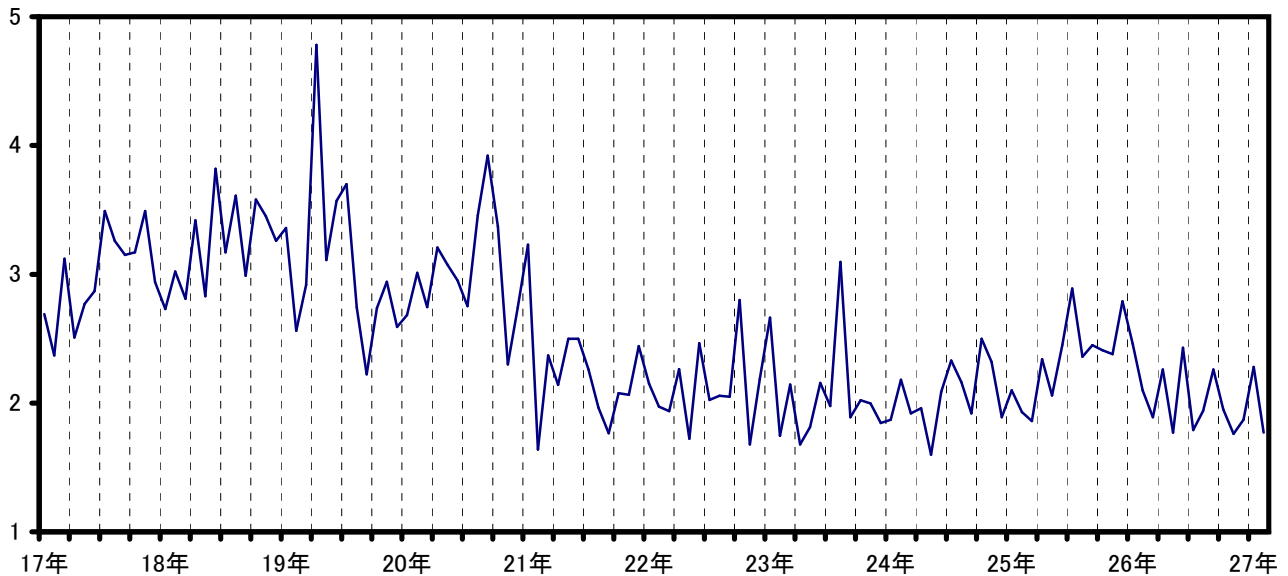
	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
戸数（戸）	1,793	1,943	2,261	1,953	1,756	1,871	2,278	1,771
前年同月比（%）	▲ 38.0	▲ 17.6	▲ 7.5	▲ 18.9	▲ 26.2	▲ 33.0	▲ 7.2	▲ 16.0
うち持家（%）	▲ 39.8	▲ 26.1	▲ 23.2	▲ 22.7	▲ 22.8	▲ 39.7	▲ 26.2	▲ 11.7
貸家（%）	▲ 31.9	▲ 14.4	3.2	▲ 22.8	▲ 24.3	▲ 24.0	▲ 22.7	▲ 40.6
分譲住宅（%）	▲ 39.4	12.7	46.3	15.0	▲ 38.7	▲ 26.4	161.9	96.0
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 14.1	▲ 12.5	▲ 14.3	▲ 12.3	▲ 14.3	▲ 14.7	▲ 13.0	▲ 3.1

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

2月 = 8,099百万円

*前年同月比：25.0%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

2月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は8,099百万円で、前年同月比25.0%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は288件で、前年同月比25.8%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
金額(百万円)	29,697	23,140	41,715	21,030	14,446	15,445	9,478	8,099
前年同月比(%)	▲4.3	▲0.9	12.8	▲22.1	▲15.2	1.5	▲0.9	▲25.0
年度累計前年同月比(%)	1.1	0.8	3.1	0.0	▲1.1	▲0.9	▲0.9	▲1.9
件数(件)	876	710	1,314	854	685	749	462	288
前年同月比(%)	9.5	▲6.3	15.7	▲13.3	▲19.1	▲7.9	▲12.0	25.8
年度累計前年同月比(%)	▲5.1	▲5.4	▲0.1	▲2.5	▲4.7	▲5.0	▲5.5	▲4.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

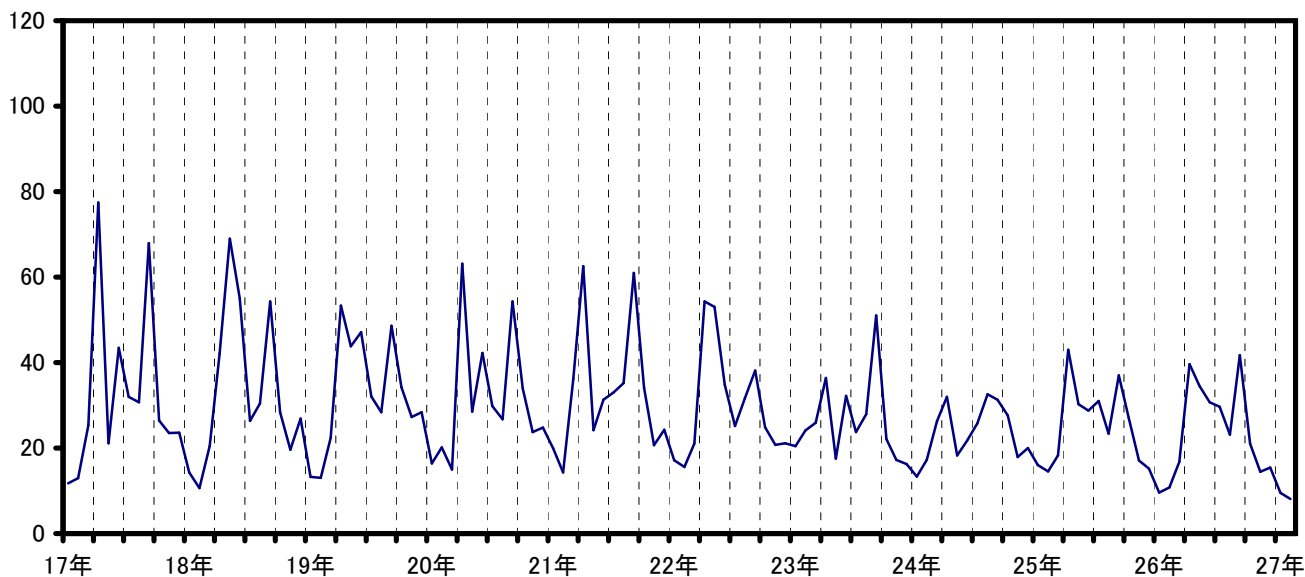
	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
国	▲18.3	14.6	▲16.5	▲24.2	206.1	343.1	▲2.4	▲57.4
独立行政法人等	▲43.2	▲7.5	▲50.7	▲92.2	▲4.4	▲78.4	1,452.9	65.6
県	▲24.9	▲12.8	37.1	▲24.3	▲31.0	▲18.1	▲36.3	3.1
市町	25.6	0.8	17.2	▲9.3	▲27.7	▲13.6	5.0	▲3.9
地方公社	—	90.8	▲76.1	67.1	—	▲25.5	▲44.2	—
その他	▲47.0	9.7	▲1.9	▲18.2	59.8	1,168.2	▲10.0	▲69.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成26年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 29.6%増）、非製造業（同 5.4%増）ともに増加する計画となっており、全産業（同 16.6%増）でも増加する計画となっている。
 平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 2.4%増）で増加、非製造業（同 0.6%減）で減少する計画となっており、全産業（同 0.9%増）で増加する計画となっている。
 2月の着工建築物床面積（非居住用）は83,413㎡で、前年同月比 8.3%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		26年度 (計画)	前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 (計画)	前回調査 比修正率	27年度 (計画)	
全 産 業	県	16.6	0.5	11.2	0.6	20.6	0.5	0.9	
	全国	4.4	0.7	1.9	—	6.4	1.3	▲ 5.0	
	製 造 業	県	29.6	▲ 1.8	16.9	0.2	38.1	▲ 3.0	2.4
		全国	7.1	▲ 3.4	5.5	—	8.3	▲ 4.9	1.3
	非 製 造 業	県	5.4	3.2	6.7	0.9	4.5	5.1	▲ 0.6
		全国	3.1	2.9	0.1	—	5.5	4.6	▲ 8.0

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成27年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成27年3月調査)」

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	141,039	100,555	189,786	173,946	156,017	104,484	71,788	83,413
前年同月比（%）	▲ 3.2	▲ 41.0	24.8	126.4	101.5	▲ 23.4	▲ 63.8	▲ 8.3
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 2.5	▲ 2.0	▲ 20.4	13.3	▲ 10.9	▲ 17.3	▲ 16.4	9.4

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		26年12月	27年3月	27年6月 (予測)
全 産 業		1	1	▲ 1
	製 造 業	9	4	2
	非 製 造 業	▲ 6	▲ 2	▲ 5
（参考） 全国 ・ 全産業		6	7	5

（注）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成27年3月調査)」

5 輸出

2月 = 163,000百万円

*前年同月比： 3.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸出総額は163,000百万円で、前年同月比 3.7%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。
 主要な品目別にみると、二輪自動車類（前年同月比 5.3%増）が8か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 6.9%減）が7か月ぶり、エアコン（同 19.0%減）が4か月連続、自動車（同 13.2%減）が5か月ぶり、自動車の部分品（同 4.3%減）が2か月ぶり、科学光学機器（同 9.4%減）が9か月ぶりに前年実績を下回った。
 地域別にみると、アジア向け（同 4.3%減）が3か月ぶり、米国向け（同 0.8%減）が8か月ぶり、EU向け（同 6.2%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
輸出総額(百万円)	174,566	154,661	168,706	175,585	162,486	190,421	166,118	163,000
前年同月比(%)	7.6	1.2	5.3	5.3	▲0.6	7.7	11.1	▲3.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
原動機	0.0	3.7	9.0	5.4	19.3	13.8	9.8	▲6.9
エアコン	9.2	0.8	▲12.3	39.3	▲14.9	▲19.7	▲3.5	▲19.0
自動車	▲25.6	▲11.2	▲14.6	29.0	26.9	11.5	9.1	▲13.2
自動車の部分品	11.7	16.9	12.4	7.3	▲13.5	▲0.8	2.7	▲4.3
二輪自動車類	24.9	1.1	28.6	11.3	26.9	10.8	14.1	5.3
科学光学機器	10.8	9.4	6.2	3.6	4.1	19.5	37.7	▲9.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
アジア	7.6	0.3	6.3	0.9	▲4.3	4.6	16.6	▲4.3
米国	22.9	12.9	8.0	21.7	5.7	32.9	3.0	▲0.8
EU	▲13.3	▲10.2	▲4.9	▲13.5	▲6.9	▲17.6	12.4	▲6.2

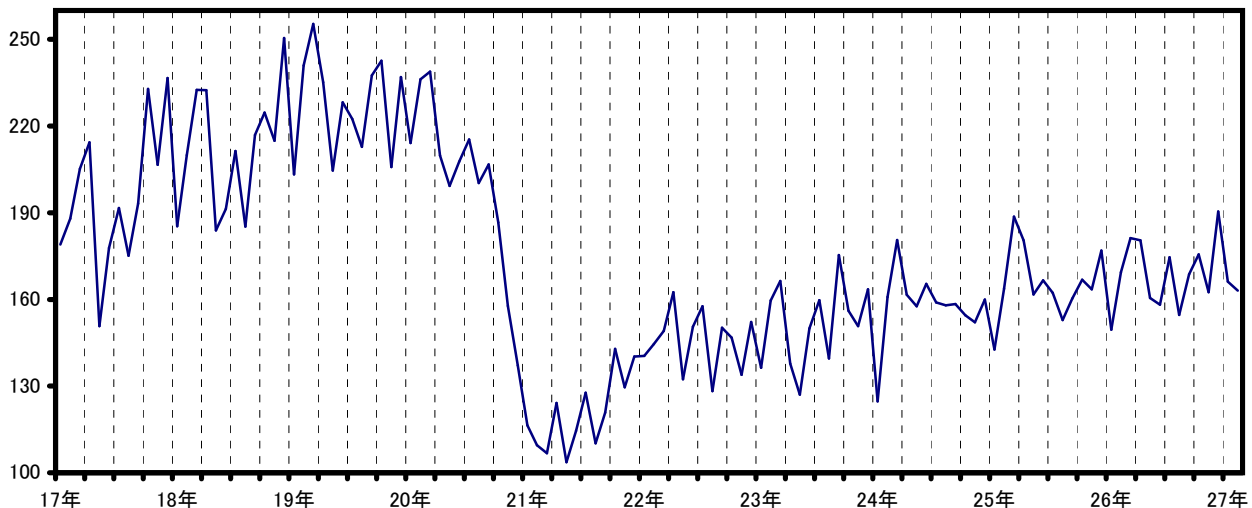
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

2月 = 85,917百万円

*前年同月比： 9.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸入総額は85,917百万円で、前年同月比 9.1%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類（前年同月比 11.1%減）が10か月ぶり、原動機（同 37.9%減）が11か月連続で前年実績を下回ったものの、木材（同 11.5%増）、紙類及び同製品（同 14.2%増）がいずれも4か月ぶり、パルプ（同 17.7%増）が2か月連続、自動車の部分品（同 19.0%増）が11か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（同 23.5%増）、米国から（同 11.1%増）がいずれも2か月ぶり、EUから（同 10.0%増）が16か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
輸入総額(百万円)	81,077	78,723	88,361	88,309	75,455	95,992	97,398	85,917
前年同月比(%)	3.7	5.3	21.9	7.5	▲1.5	20.1	14.4	9.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
魚介類	7.8	32.1	38.9	4.6	2.9	9.3	31.3	▲11.1
木材	3.1	▲29.1	1.3	23.2	▲13.2	▲2.3	▲5.4	11.5
パルプ	31.3	▲41.5	45.6	9.9	▲1.6	▲2.9	10.7	17.7
紙類及び同製品	12.3	27.1	33.9	15.6	▲11.0	▲21.0	▲17.6	14.2
原動機	▲77.6	▲73.7	▲73.9	▲67.7	▲67.2	▲48.4	▲54.4	▲37.9
自動車の部分品	▲9.9	▲15.7	▲6.3	▲12.1	▲18.4	▲3.1	▲10.9	19.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

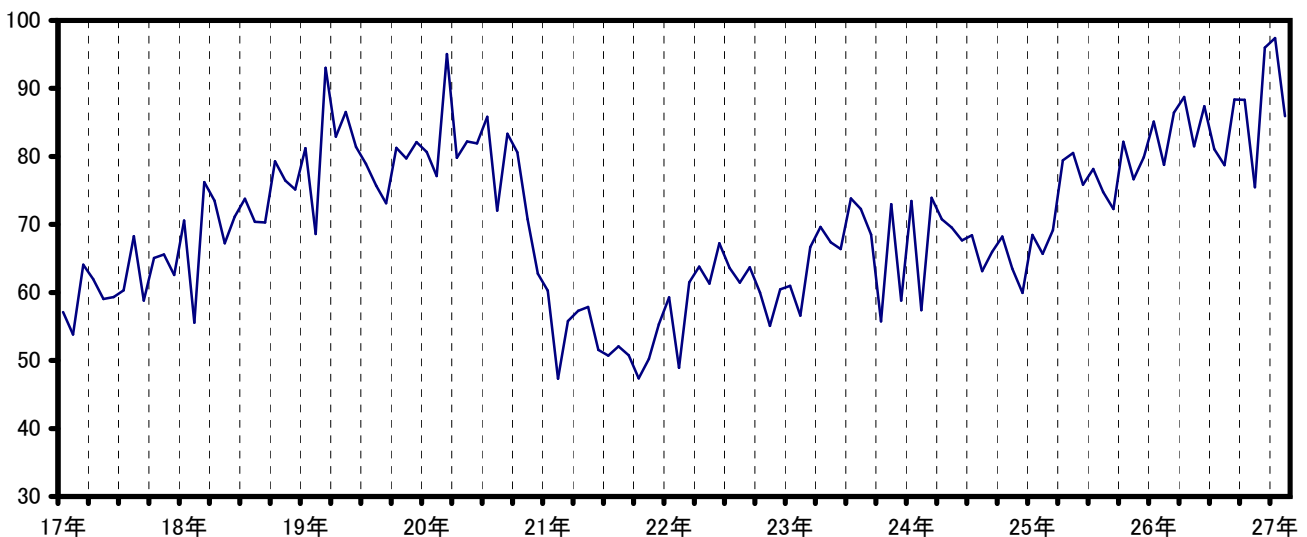
	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
アジア	3.4	▲8.6	18.4	▲2.8	▲0.4	16.3	▲0.2	23.5
米国	▲22.8	20.6	32.7	▲6.4	▲30.7	31.2	▲17.1	11.1
EU	21.8	16.2	72.7	41.3	12.9	2.0	60.8	10.0

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生 産 面

1 生 産

(1) 産業用大口電力消費量

2 月 = 929,943千kWh

*前年同月比 3.4%減

(東京電力、中部電力合計)

<概 況>

2月の産業用大口電力消費量は929,943千kWhで、前年同月比 3.4%減となり、7か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、一般機械（前年同月比 4.3%減）が7か月連続、電気機械（同 0.9%減）、輸送機械（同 1.9%減）がいずれも2か月連続、化学（同 0.7%減）、パルプ・紙・紙加工品（同 12.9%減）がいずれも4か月連続、食品（同 2.5%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
消費量(千kWh)	1,121,830	997,227	1,050,479	1,039,590	984,002	967,630	939,323	929,943
前年同月比(%)	0.1	▲ 4.5	▲ 2.2	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 3.4
全国10社前年同月比(%)	▲ 1.1	▲ 2.1	▲ 1.5	▲ 2.3	▲ 1.2	▲ 0.6	▲ 1.8	▲ 2.6

*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力、電気事業連合会

<県内産業別大口電力消費量前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
一般機械工業	1.1	▲ 5.4	▲ 4.7	▲ 4.3	▲ 6.4	▲ 3.3	▲ 3.7	▲ 4.3
電気機械工業	1.5	▲ 3.2	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 0.7	1.0	▲ 0.3	▲ 0.9
輸送機械工業	0.0	▲ 5.2	▲ 3.5	▲ 4.9	▲ 4.7	0.0	▲ 2.5	▲ 1.9
化学工業	▲ 1.3	▲ 3.2	▲ 1.9	1.5	▲ 0.6	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 0.7
パルプ・紙・紙加工品工業	5.8	▲ 3.7	1.2	2.2	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 14.4	▲ 12.9
食品工業	▲ 1.7	▲ 3.7	▲ 4.0	▲ 4.7	▲ 1.3	0.4	0.3	▲ 2.5

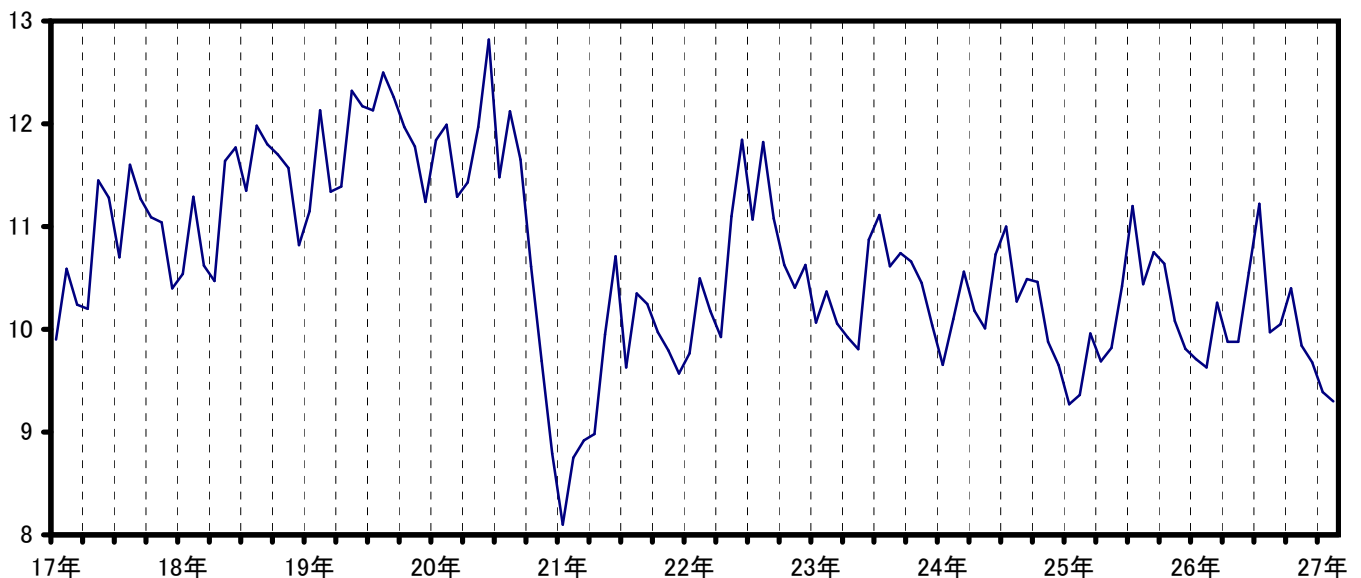
*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力

<過去10年間の推移>

産業用大口電力消費量(億kWh)

<資料>東京電力、中部電力



(2) 鋳工業生産指数

1 月 = 97.3

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.4%増

*前年同月比(原指数) : 7.7%減

<概況>

1月の鋳工業生産指数(総合)は97.3(季節調整済指数)で、前月比4.4%増となり、2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は7.7%減と7か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比2.5%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同10.4%減)が4か月連続、輸送機械(同9.0%減)が7か月連続、化学(同10.7%減)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同6.0%減)が6か月連続、食料品・たばこ(同10.1%減)が8か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
指数	92.0	94.3	90.5	91.4	93.2	90.5	93.2	97.3
前月比(%)	▲3.8	2.5	▲4.0	1.0	2.0	▲2.9	3.0	4.4
前年同月比(%)	1.3	▲1.7	▲4.3	▲0.4	▲4.5	▲6.8	▲2.8	▲7.7
(参考)全国前年同月比(%)	3.2	▲0.9	▲2.9	0.6	▲1.0	▲3.8	0.3	▲2.6

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	11.4	17.8	▲4.7	36.6	13.5	▲7.3	10.9	2.5
電気機械工業	▲0.4	▲4.9	▲11.0	1.3	▲0.4	▲9.7	▲3.7	▲10.4
輸送機械工業	6.6	▲2.8	▲2.0	▲6.0	▲4.3	▲7.7	▲4.0	▲9.0
化学工業	▲5.4	▲16.3	▲5.2	▲5.8	▲19.6	▲1.3	8.4	▲10.7
パルプ・紙・紙加工品工業	1.2	6.5	▲9.2	▲0.2	▲2.4	▲2.7	▲4.9	▲6.0
食料品・たばこ工業	▲9.7	▲3.7	▲6.3	▲8.8	▲7.7	▲9.5	▲13.1	▲10.1

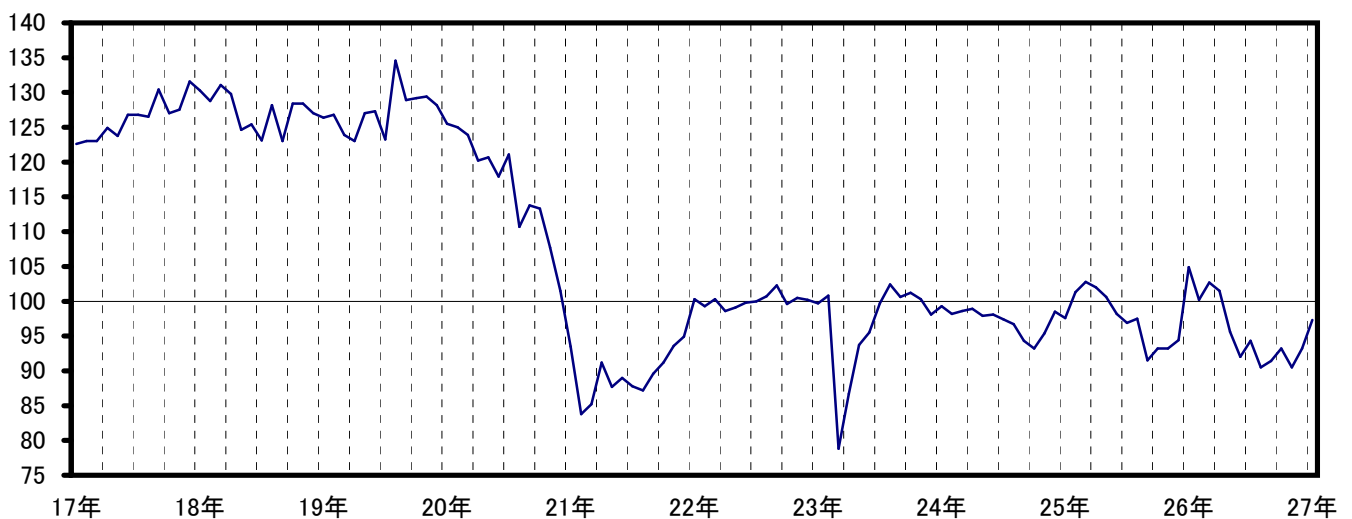
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(3) 鉱工業在庫指数

1 月 = 100.9

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.4%減

*前年同月比(原指数) : 6.2%減

<概況>

1月の鉱工業在庫指数(総合)は100.9(季節調整済指数)で、前月比は0.4%減と7か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は6.2%減と2か月連続で前年水準を下回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「意図せざる在庫減局面(景気拡大初期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比 21.2%増)が13か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 12.5%減)が4か月連続、輸送機械(同 22.6%減)が7か月連続、化学(同 9.4%減)、食料品・たばこ(同 3.1%減)がいずれも2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 1.1%減)が5か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
指数	113.3	112.3	110.1	106.6	103.7	102.9	101.3	100.9
前月比(%)	4.0	▲0.9	▲2.0	▲3.2	▲2.7	▲0.8	▲1.6	▲0.4
前年同月比(%)	8.0	6.3	5.0	1.3	1.0	0.9	▲1.0	▲6.2
(参考)全国前年同月比(%)	2.7	2.8	4.7	3.9	3.9	6.4	6.1	5.7

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	8.7	7.8	0.7	2.1	▲1.9	▲2.6	▲1.6	▲12.5
電気機械工業	25.4	36.0	35.4	33.5	35.5	29.6	34.6	21.2
輸送機械工業	12.1	▲13.6	▲5.2	▲18.5	▲6.8	▲3.2	▲27.4	▲22.6
化学工業	25.1	28.4	6.3	9.4	▲2.8	2.4	▲1.3	▲9.4
パルプ・紙・紙加工品工業	0.2	6.0	3.2	▲1.1	▲4.6	▲0.7	▲2.1	▲1.1
食料品・たばこ工業	1.0	▲8.6	9.2	9.0	8.7	2.4	▲2.6	▲3.1

(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

2月 = 1.13倍

*前月比(季節調整値) : 同水準

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概況>

2月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.13倍となり、前月と同水準だった。また、2か月連続で全国値を下回った。

新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比0.6%増)は20か月連続で前年実績を上回った。

これを産業別にみると、運輸業・郵便業(同7.6%減)で前年実績を下回ったものの、建設業(同1.4%増)、製造業(同9.3%増)、情報通信業(同29.3%増)、卸売業・小売業(同5.4%増)、医療・福祉(同2.0%増)、サービス業(他に分類されないもの)(同12.5%増)で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
県	1.07	1.08	1.09	1.11	1.12	1.14	1.13	1.13
全 国	1.10	1.10	1.10	1.10	1.12	1.14	1.14	1.15

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
建設業	0.5	8.6	2.9	3.1	3.5	▲2.7	0.9	1.4
製造業	8.9	10.9	18.1	8.2	12.1	11.4	▲1.5	9.3
情報通信業	8.4	61.8	71.3	27.2	19.1	87.2	32.2	29.3
運輸業・郵便業	23.7	12.1	10.4	8.1	▲8.2	9.3	▲1.1	▲7.6
卸売業・小売業	33.9	48.0	36.5	1.7	49.1	26.7	▲37.1	5.4
医療・福祉	28.9	7.7	22.1	24.0	13.5	24.6	13.5	2.0
サービス業(他に分類されないもの)	11.4	11.2	38.4	▲1.1	▲3.5	8.2	34.1	12.5
合計	8.5	12.6	19.0	11.5	7.5	13.6	4.7	0.6

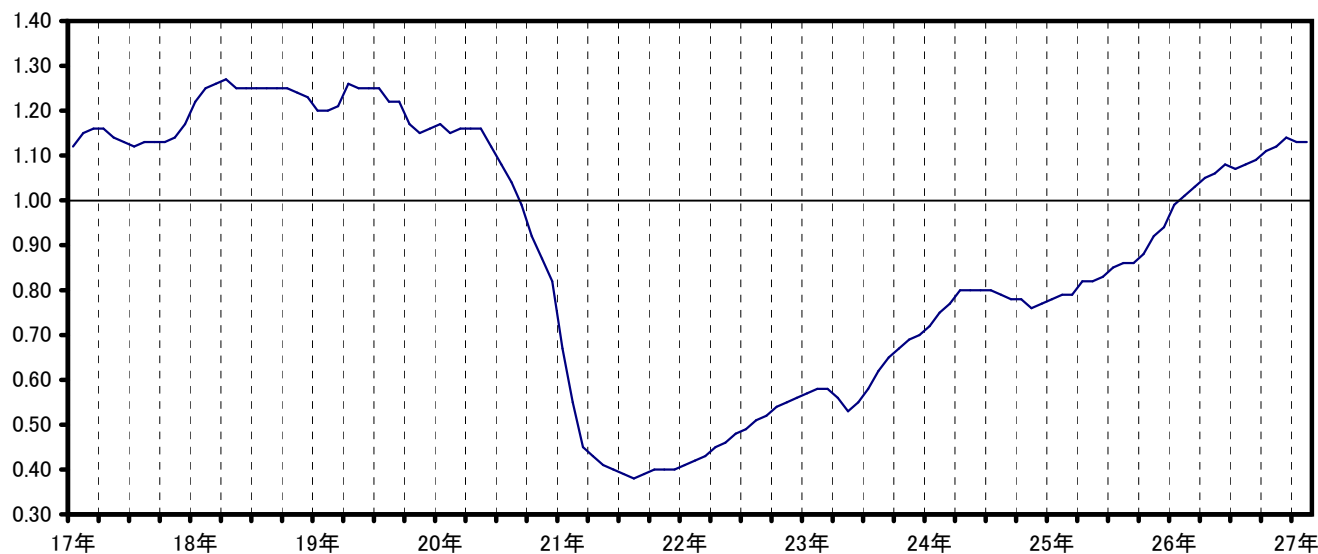
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

2月 = 13,190人

*前月比: 5.3%減

*前年同月比: 5.3%減

<概況>

2月の雇用保険受給者実人員は13,190人で、前月比は5.3%減と2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は5.3%減と19か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は3.5%で、前月から0.1ポイント改善した。
 静岡県(平成26年10~12月)の完全失業率は2.6%で、前期(26年7~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
実人員(人)	15,818	15,612	15,544	15,653	14,160	13,847	13,925	13,190
前月比(%)	3.6	▲1.3	▲0.4	0.7	▲9.5	▲2.2	0.6	▲5.3
前年同月比(%)	▲16.3	▲13.5	▲9.7	▲6.9	▲8.2	▲6.7	▲7.0	▲5.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲13.2	▲12.9	▲8.8	▲10.4	▲11.2	▲8.2	▲9.5	▲7.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
完全失業率(全国)(%)	3.8	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5

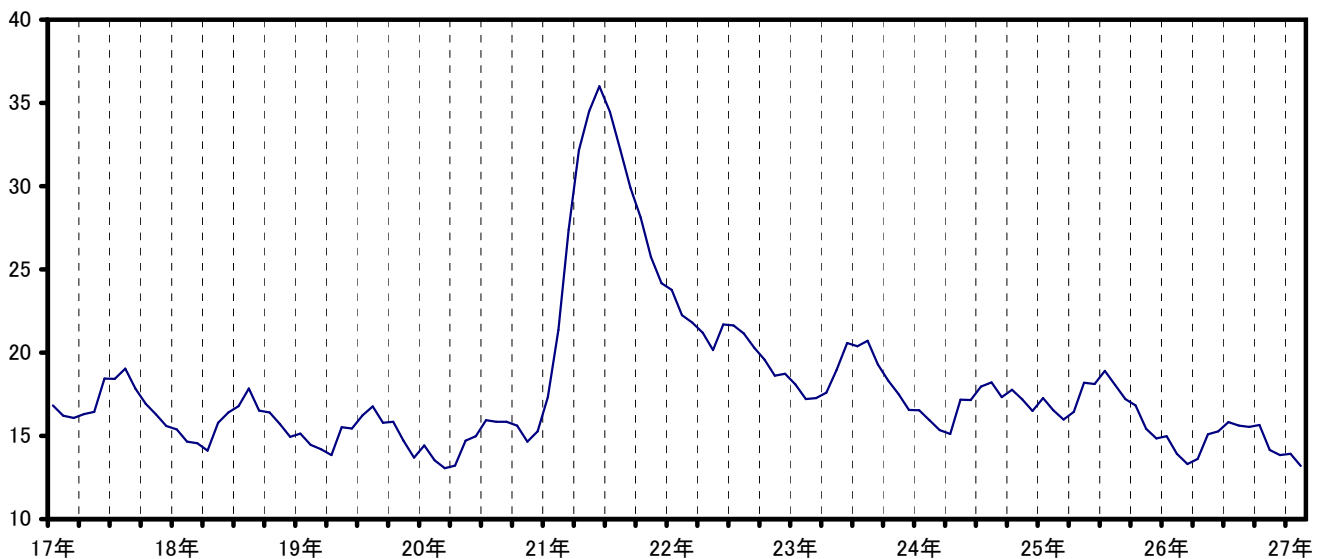
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

1 月 = 107.1

* 前月比(季節調整済指数) : 同水準

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 2.2%増

<概況>

1月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は107.1(季節調整済指数)で、前月と同水準だった。また、前年同月比(原指数)は2.2%増となり、2か月連続で前年水準を上回った。

業種別にみると、運輸業・郵便業(前年同月比 12.8%減)が9か月連続で前年水準を下回ったものの、建設業(同 5.8%増)が5か月ぶり、製造業(同 4.6%増)が3か月連続、情報通信業(同 11.0%増)、その他のサービス業(同 11.8%増)がいずれも2か月連続、卸売業・小売業(同 6.3%増)が3か月ぶり、医療・福祉(同 2.8%増)が6か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
指数	101.2	95.7	102.4	102.1	102.2	101.6	107.1	107.1
前月比(%)	2.4	▲ 5.4	7.0	▲ 0.3	0.1	▲ 0.6	5.4	0.0
前年同月比(%)	4.7	▲ 1.6	3.1	4.7	1.5	▲ 2.1	1.5	2.2
(参考)全国前年同月比(%)	2.5	1.6	0.0	0.8	0.0	0.0	0.7	0.0

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
建設業	0.7	▲ 9.3	3.9	▲ 14.9	▲ 22.4	▲ 2.0	▲ 5.2	5.8
製造業	3.0	▲ 1.2	6.9	1.8	0.0	1.0	2.8	4.6
情報通信業	6.2	6.9	48.5	48.1	70.1	▲ 2.8	23.7	11.0
運輸業・郵便業	▲ 9.9	▲ 1.1	▲ 7.2	▲ 2.1	▲ 0.5	▲ 2.1	▲ 11.9	▲ 12.8
卸売業・小売業	0.0	0.0	2.7	4.3	1.4	▲ 2.6	▲ 7.4	6.3
医療・福祉	23.6	▲ 1.7	1.8	5.2	10.6	3.3	12.1	2.8
その他のサービス業	14.4	12.1	11.1	6.9	5.7	▲ 5.2	13.8	11.8
調査産業計	4.7	▲ 1.6	3.1	4.7	1.5	▲ 2.1	1.5	2.2

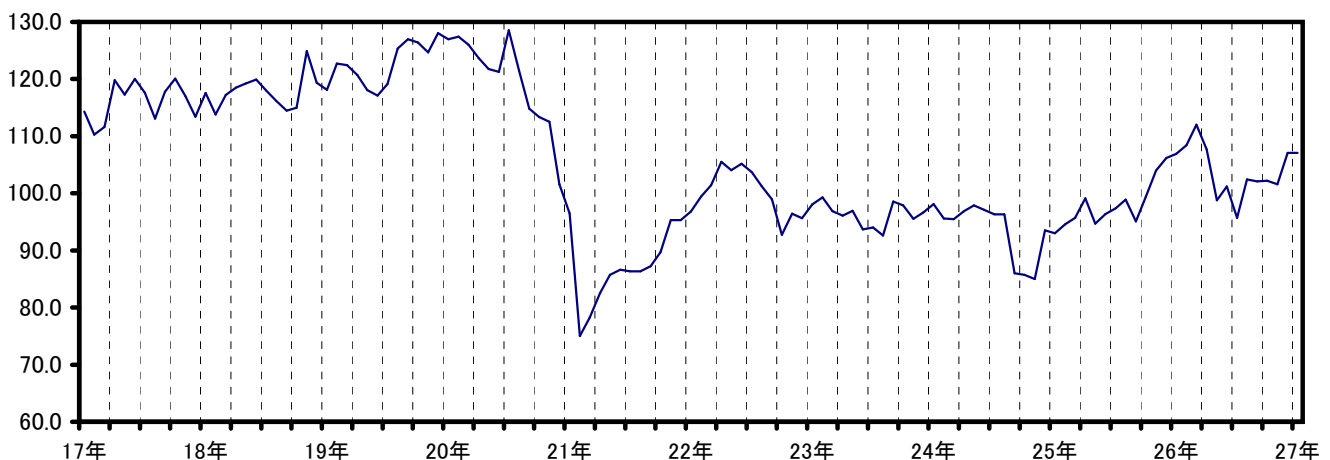
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

(1) 国内企業物価指数

3 月 = 103.5

*前 月 比: 0.3%上昇

*前年同月比: 0.7%上昇

(平成22年=100)

<概 況>

3月の国内企業物価指数は103.5となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は0.7%の上昇となった。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月
国内企業物価指数	106.5	106.4	105.5	105.2	104.7	103.3	103.2	103.5
前 月 比 (%)	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.8	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.3	▲ 0.1	0.3
前年同月比 (%)	4.0	3.6	2.9	2.6	1.8	0.3	0.4	0.7

*平成22年=100

<資料>日本銀行

(2) 消費者物価指数(総合)

3 月 = 103.1

*前 月 比: 0.3%上昇

*前年同月比: 2.3%上昇

(平成22年=100)

<概 況>

3月の消費者物価指数(総合)は103.1となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は2.3%の上昇となった。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月
消費者物価指数	103.7	103.9	103.5	103.0	102.9	102.9	102.8	103.1
前 月 比 (%)	0.1	0.2	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.3
前年同月比 (%)	3.6	3.5	3.0	2.5	2.2	2.3	2.2	2.3

*平成22年=100

<資料>県統計調査課

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

2 月 = 132,274億円

*前 月 比: 0.1%減

*前年同月比: 3.2%増

(銀行、信用金庫)

<概 況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は132,274億円で、前月比0.1%減、前年同月比は3.2%増となった。

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月
貸出残高(億円)	130,472	130,566	132,656	131,113	131,751	133,572	132,402	132,274
前 月 比 (%)	0.2	0.1	1.6	▲ 1.2	0.5	1.4	▲ 0.9	▲ 0.1
前年同月比 (%)	3.2	2.7	2.9	3.1	3.2	3.2	3.4	3.2

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

2 月 = 2.142%

*前 月 差: 0.011ポイント増

*前年同月差: 0.036ポイント増

(県内地銀4行総平均)

<概 況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.142%で、前月から0.011ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.036ポイントのプラスとなった。

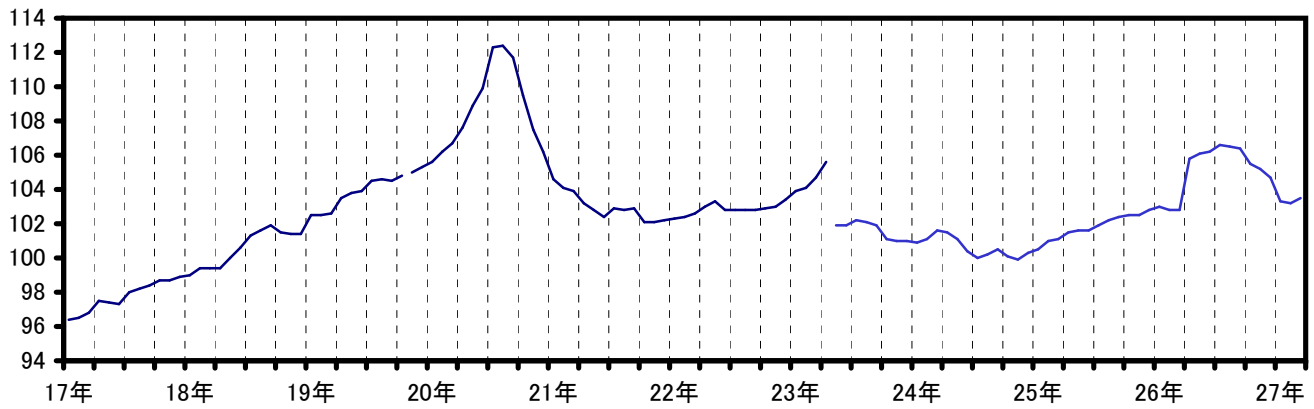
	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月
貸出約定金利(%)	2.092	2.112	2.109	2.124	2.126	2.118	2.131	2.142
前月差(ポイント)	0.016	0.020	▲ 0.003	0.015	0.002	▲ 0.008	0.013	0.011
前年同月差(ポイント)	0.002	0.030	0.043	0.042	0.044	0.048	0.021	0.036

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

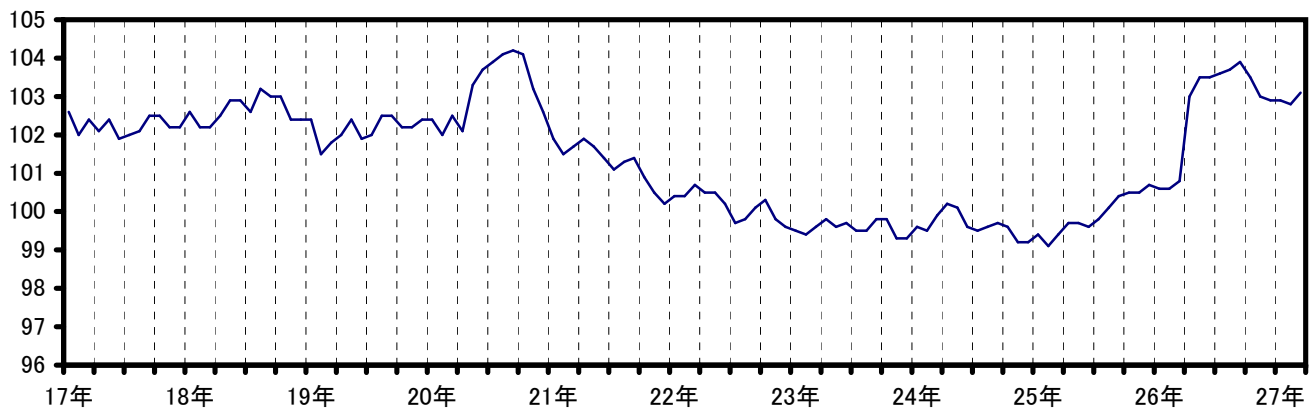
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



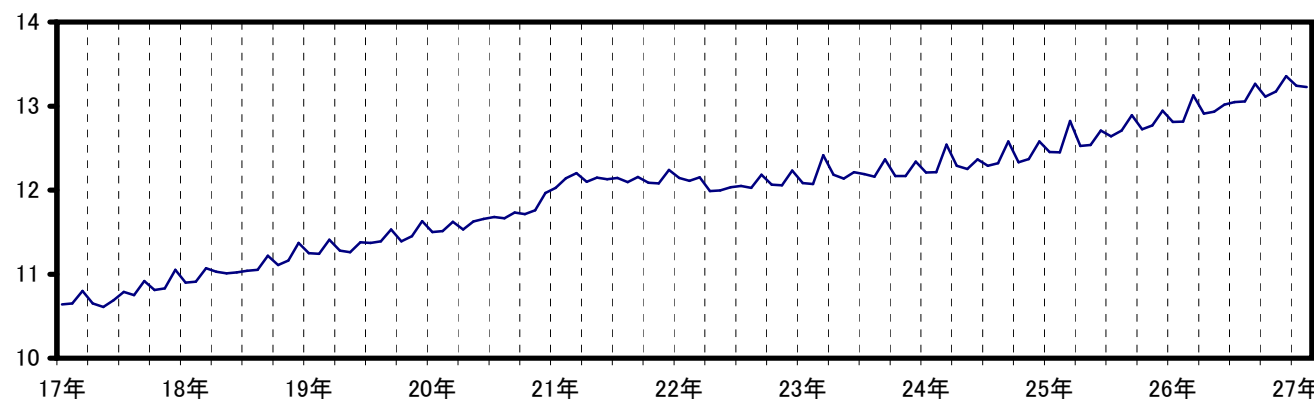
消費者物価指数(平成22年=100)

<資料>県統計調査課



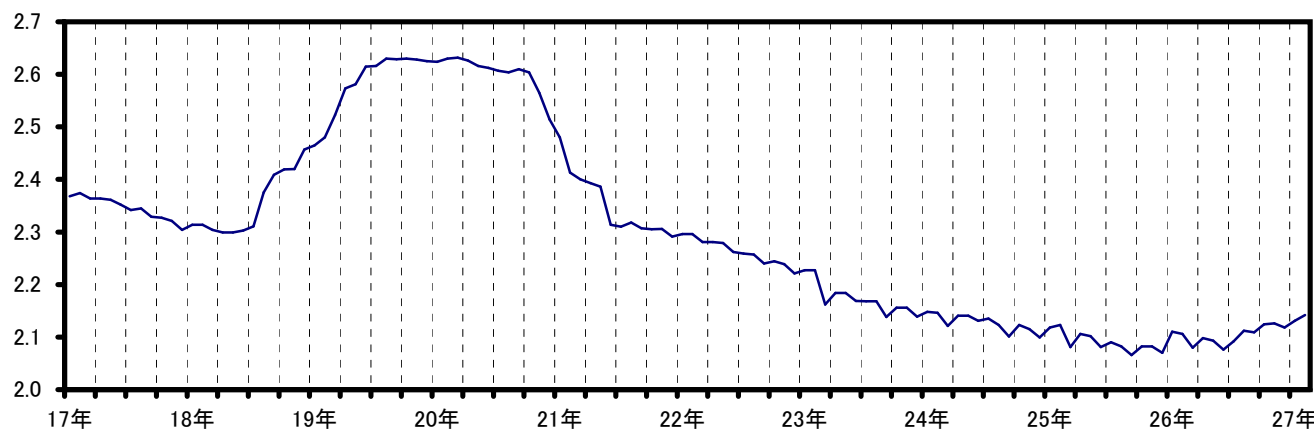
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**2月 = 21,165百万円**

*前年同月比： 2.4%減

<概況>

2月の保証承諾は、金額が21,165百万円（前年同月比 2.4%減）と28か月連続で前年実績を下回り、件数は2,340件（同 3.0%減）と44か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月
保証金額（百万円）	25,588	21,610	26,540	20,926	21,189	30,756	18,715	21,165
前年同月比（%）	▲ 9.2	▲ 15.6	▲ 12.7	▲ 11.9	▲ 18.6	▲ 8.7	▲ 2.7	▲ 2.4
保証件数（件）	2,735	2,290	2,827	2,206	2,165	3,173	1,941	2,340
前年同月比（%）	▲ 9.1	▲ 12.7	▲ 4.8	▲ 13.5	▲ 19.5	▲ 6.0	▲ 8.8	▲ 3.0

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**3月 = 120.39円/ドル**

*前月差： 1.82円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 18.12円安

<概況>

3月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は120.39円で、前月と比べて1.82円の円安となり、2か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月
平均相場（円）	102.96	107.09	108.06	116.22	119.40	118.24	118.57	120.39
前月差（円）	1.24	4.13	0.97	8.16	3.18	▲ 1.16	0.33	1.82
前年同月差（円）	5.09	7.85	10.21	16.19	15.94	14.30	16.44	18.12

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****3月 = 23件**

*前年同月比： 14.8%減

<概況>

3月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は23件、負債総額は2,983百万円といずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、既往のシワ寄せ、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が21件と全体の91.3%を占め、208か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

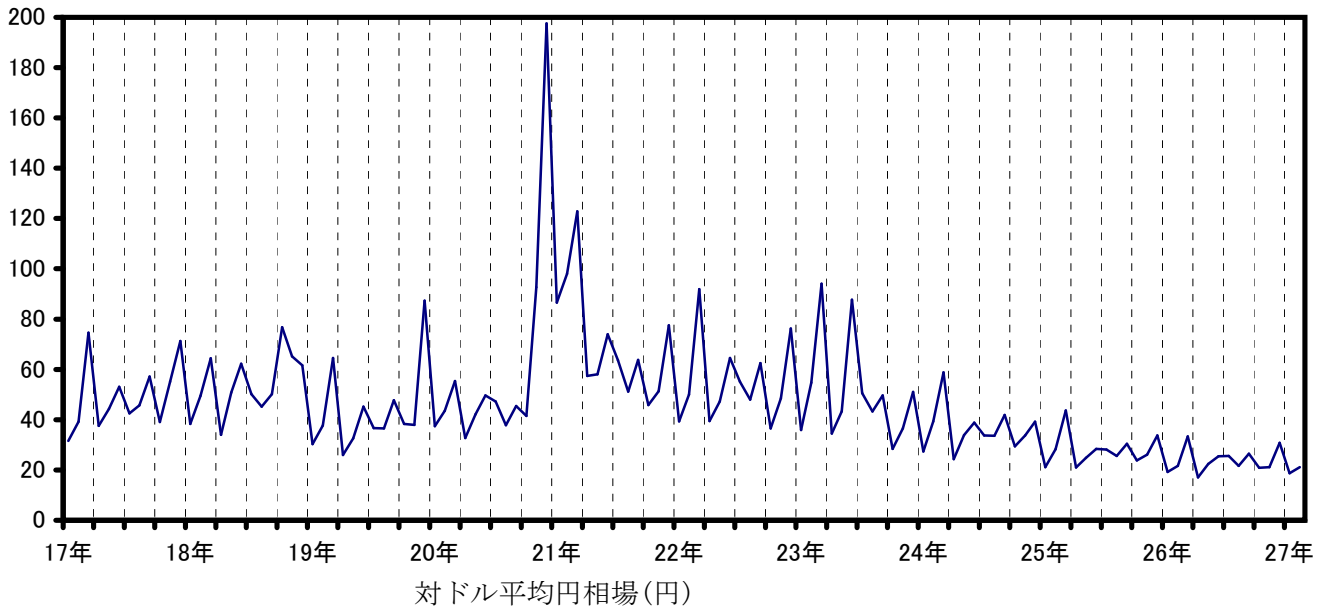
	26年8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月
倒産件数（件）	25	31	30	24	22	25	18	23
前年同月比（%）	▲ 7.4	63.1	▲ 11.7	▲ 29.4	▲ 26.6	8.6	▲ 30.7	▲ 14.8
うち不況型倒産件数（件）	22	28	20	24	17	20	13	21
負債総額（百万円）	4,690	7,686	3,183	2,935	3,941	6,396	1,965	2,983
前年同月比（%）	▲ 41.0	18.5	▲ 61.3	▲ 29.9	▲ 34.1	92.7	▲ 52.2	▲ 21.0

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

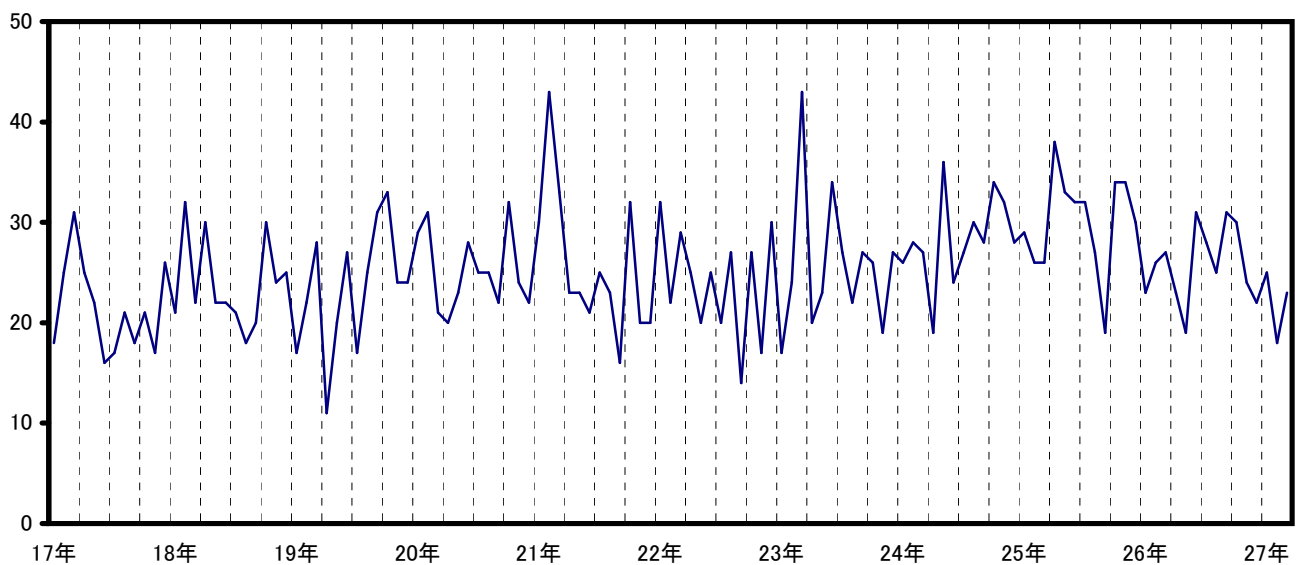
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成27年2月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>2月の国内二輪車生産台数は、50,079台（前年同月比 11.2%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。車種別では、原付第二種（51～125cc以下）のみが2,440台（同 13.3%増）と前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数では、国内は29,295台（同 21.7%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。車種別では、小型二輪車（251cc以上）のみが3,280台（同 1.4%増）と前年実績を上回った。</p> <p>輸出向けも51,611台（同 2.4%減）で、3か月連続で前年実績を下回ったが、アフリカ向けは2,137台（同77.6%増）、またアジア向けは3,053台（同 20.8%増）と好調であった。また、車種別では、原付第二種は3,097台（同 37.1%増）、軽二輪車（126～250cc以下）は5,290台（同 22.9%増）と好調であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>2月の自動車国内生産台数は817,390台（前年同月比 5.3%減）となり、8か月連続で前年同月を下回った。また、輸出は365,855台（同 0.3%減）となり、3か月ぶりに前年同月を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが4か月ぶりのプラスとなったものの、乗用車が8か月連続でマイナスとなっていることから、全体でも8か月連続でマイナスとなっている。</p> <p>輸出は、北米向けが3か月ぶり、アジア向けが2か月ぶりにマイナスとなったことから、全体では3か月ぶりに前年同月を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>2月の冷蔵庫の国内出荷額は236億6,300万円（前年同月比 46.9%減）、また、国内出荷台数は247千台（同 38.5%減）で、ともに5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>2月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは511千台（同 24.3%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。また、業務用は66千台（同 0.2%増）となり、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>1月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、2,131千台（同 5.7%増）と、9か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは1,100千台（同 19.1%増）となり、3か月連続で1,000千台超えとなった。単月のスマートフォン比率は51.6%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用 機械	<p>2月の工作機械の受注総額は、1,314億9,400万円（前年同月比 28.9%増）と、17か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は889億1,700万円（同 30.8%増）、内需は425億7,700万円（同 25.2%増）といずれも前年実績を上回った。外需では、特にアジア向けが517億6,600万円（同 67.3%増）と好調であり、また内需では、電気・精密機械が35億5,800万円（同 45.9%増）と好調であった。</p> <p>一方、県内中小企業からは、自動車業界向けは堅調であるものの、今後の資材の高騰が懸念材料となっているとの声も聞かれる。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>2月の県内楽器メーカーの販売金額は、53億4,000万円（前年同月比 11.2%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが29億600万円（同 3.5%減）で、国内向けが24億3,300万円（同 18.9%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,672台（同 10.3%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,683台（同 14.2%減）、グランドピアノが989台（同 2.7%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,744台（同 4.5%減）、国内向けが1,129台（同 30.7%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>2月の紙・板紙の国内出荷高は、2,015千ト（前年同月比 3.7%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,168千ト（同 4.3%減）で、11か月連続で前年実績を下回り、板紙も847千ト（同 2.9%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、681千ト（同 1.4%減）と11か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、135千ト（同 10.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会</p>
缶詰・飲料	<p>2月の県内生産量は、食缶類が国内向け886千箱（前年同月比 15.8%増）と、6か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は622千箱（同 10.6%増）と4か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も438千箱（同 7.7%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は264千箱（同 30.3%増）と、10か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,202千箱（同 26.9%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>2月の広幅織物の県内生産は、1,508千㎡（前年同月比 5.3%減）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,465千㎡（同 4.4%減）であり、別珍・コールテンの生産は、43千㎡（同 29.1%減）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、38千㎡（同 6.3%増）であった。</p> <p>産地では、引き続き、生産量が減少傾向にある。このため、県内外そして海外へと各種展示会への出展による新規需要・販路開拓を図っている。2月には東京において静岡県の産地単独での展示・商談会、「遠州織物コレクション」を開催し、また、海外でもイタリア及びフランスでの展示・商談会に県内企業が出展した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>2月の全国百貨店での家具販売額は、54億3,500万円（前年同月比 24.4%減）で、また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、364億6,600万円（同0.8%減）であった。</p> <p>消費増税前の駆け込み需要により好調であった昨年度と比較すると、前年比で厳しいものとなった。こうした中、県内業界では、首都圏で開催される各種見本市に出展するなど、販路拡大に取り組んでいる。</p> <p>＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、地域産業課</p>
小 売 業	<p>2月の県内百貨店の売上高は、前年同月比5.2%減となった。2月は前年に比べ、降雨日が少ないという好要因があったものの、増税前駆け込み需要の反動が大きく、高額商品を中心に伸び悩んだことにより、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>全国的には、大都市圏で春節休暇により外国人の売上高が全体を底上げしたことから、前年比1.1%増と11か月ぶりにプラスに転じているものの、地方ではマイナスが続くところもあり、地区によってバラツキが見られた。</p> <p>部門別では、主力の衣料品が婦人服を中心に春物衣料品の動きが鈍く、紳士服が1.6%減、婦人服が8.7%減となった。一方で子供服は0.2%増となったが、衣料品全体では7.2%減と不振であった。</p> <p>靴、鞆等の身の回り品は18.2%減と大きく前年を下回った。</p> <p>好調が続いていた美術・宝飾・貴金属も6.9%減と3か月ぶりにマイナスに転じた。</p> <p>食料品はバレンタイン商戦は好調だったものの、全体的に伸び悩んで1.1%減となった。</p> <p>一方で、化粧品は売り場の改装効果などで1.3%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内スーパーの景気状況は、「やや上向き」「下向き」と店舗によって分かれた。前年は消費税増税前で売上が増大したことから、その反動が衣料品や家電製品などに表われ、苦戦を強いられた。</p> <p>＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>2月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約24万人で、前年同月比30.0%の増となった。前年の週末は雪が多かったのに対し、今年度は降雪量が少なかったことなどによる。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両は、約61万台で、前年同月比17.3%の増である。箱根スカイラインと伊豆のスカイラインの通行量が大幅に増加している。</p> <p>＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
完成車生産台数(台)	15,861	21,600	16,426	20,320	25,301	22,094	21,785	19,802	21,173
前年同月比(%)	24.8	22.5	12.0	12.3	29.0	9.6	18.2	12.4	2.7
KD輸出額(百万円)	1,209	1,110	956	1,265	1,018	1,151	1,194	1,127	1,010
前年同月比(%)	13.6	5.0	▲6.4	14.3	▲10.5	▲6.4	18.2	8.0	4.7

<楽器>

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
生産総額(百万円)	4,702	4,759	3,332	3,852	3,846	3,429	3,467	3,384	3,419
前年同月比(%)	30.7	27.7	9.5	15.6	▲2.2	▲12.1	▲5.0	▲4.5	▲3.0

<缶詰>

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
食缶生産高(千ケース)	906	971	875	873	903	859	755	790	889
前年同月比(%)	▲14.1	▲4.4	4.9	▲7.6	▲0.9	▲7.1	▲6.1	▲3.8	15.5
うち水産缶詰(%)	▲13.6	▲3.1	8.9	▲6.8	5.8	▲2.2	▲5.9	0.9	12.8
農畜産缶詰(%)	▲15.7	▲8.0	▲5.2	▲10.3	▲18.9	▲20.9	▲6.6	▲15.7	23.1
飲料缶生産高(千ケース)	9,101	8,954	8,195	6,170	6,252	6,943	6,593	4,946	5,202
前年同月比(%)	6.5	▲11.6	▲11.9	▲27.5	▲22.1	▲15.5	▲10.2	▲14.3	▲26.9

<繊維>

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
広幅織物(千㎡)	1,232	1,170	1,094	1,299	1,430	1,580	1,535	1,443	1,508
前年同月比(%)	▲12.6	▲10.1	▲4.6	▲3.6	▲5.9	▲4.7	▲5.4	▲11.6	▲5.3
小幅織物(千㎡)	39	39	39	42	38	36	37	36	38
前年同月比(%)	▲19.0	▲19.4	▲17.6	▲11.7	▲19.4	▲23.5	▲21.1	▲3.7	6.3

<観光>

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
観光施設(10施設)入込 (千人)	444	261	565	433	357	401	218	252	244
前年同月比(%)	20.1	▲20.6	1.9	▲1.0	▲5.2	▲2.4	▲16.3	▲11.5	30.4
有料道路(5路線)通行量 (千台)	628	702	841	679	649	696	674	623	606
前年同月比(%)	19.7	12.0	7.8	18.5	17.7	16.5	18.0	15.2	17.3

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・百貨店販売額	・産業用大口電力消費量	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・雇用保険受給者実人員	・消費者物価指数
・自動車新規登録台数	・鉱工業在庫指数	・完全失業率	・県内金融機関貸出残高
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・信用保証協会保証金額
・清水税関支所管内輸出額			・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
消費者物価	総務省統計局	http://www.stat.go.jp/
家計調査		
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成27年4月号 通巻468号

発行 静岡県経済産業部
平成27年4月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>